

学校法人 旭川カトリック学園



羽幌藤幼稚園

2021（令和3）年度 教育課程

幼稚園とは、学校教育法により文部科学省に認められている教育機関です。
学校教育法では、次のように定められています。

22条「幼稚園は、義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、幼児の健やかな成長のために適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的とする。」
23条「幼稚園における教育は、前条に規定する目的を実現するため、次に掲げる目標を達成するよう行われるものとする。」

- ①健康、安全で幸福な生活のために必要な基本的な習慣を養い、身体諸機能の調和的発達を図ること。
- ②集団生活を通じて、喜んでこれに参加する態度を養うとともに家族や身近な人への信頼感を深め、自主、自律及び協同の精神並びに規範意識の芽生えを養うこと。
- ③身近な社会生活、生命及び自然に対する興味を養い、それらに対する正しい理解と態度及び思考力の芽生えを養うこと。
- ④日常の会話や、絵本、童話等に親しむことを通じて、言葉の使い方を正しく導くとともに、相手の話を理解しようとする態度を養うこと。
- ⑤音楽、身体による表現、造形等に親しむことを通じて、豊かな感性と表現力の芽生えを養うこと。

とあります。従って幼稚園は幼児に対して、上記の5領域にわたって、総合的な指導を行い、基本的な生活習慣と望ましい人間関係の基礎をつくることです。

本園は、日本国憲法、教育基本法、および学校教育法とキリストの教えに従いカトリック的な人間観に基づき幼児を保育し、適切な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的としています。

◆ 子どもたちの標語 「がまん」・「しんせつ」・「おいのり」

* 我慢できる子ども

* 親切にできる子ども

* お祈りを大切にしている子ども

小さい頃から“がまん”する心を育て、たくましくそして人に優しく“親切”にできる心を持つように。また、神様への感謝の心を込めて“祈る”ことを通じて心広く美しく育てたいと願っています。

◆ 教育方針

- ◎ キリスト教的な愛を基本とする宗教的な雰囲気の中、一人一人を大切に幼児と向き合い、人格形成に最も大切な時期に、はっきりとした道德観をもてるようにする。
- ◎ 崇高なもの、美しいものに素直に感動し、感謝する心を養うことによって幼児の心身が健やかに育成することを願いながら保育にあたる。
- ◎ 戸外遊びなどを通じて思いきり身体を動かして遊ぶ活動を意図的計画的に取り入れるとともに基本的生活習慣に関する指導を行い、主体的に生活したり健康や安全に関心をもったりする幼児を育成する。
- ◎ 幼児期に様々な体験をすることによって幼児自身が持つ可能性を最大限に伸ばすことを大切にすることを基本とし、幼稚園教育要領の5領域を基本の柱として保育計画を作成し、幼児一人一人の発達・成長を考慮しながら保育を行う。

◆ 今年度、重点的に取り組む目標・計画

- * カトリックの教育理念の理解に職員で取り組み、保育内容や指導のあり方についても職員間での話し合いを深め指導計画に反映させる。
保育計画については保護者にも知らせ、共通の認識をもって保育にあたる。
- * 縦割り保育を実践する中で家庭的な園での生活を心がけ思いやりの心を育てる。
また、年齢別保育では、年齢の発達に合った計画を行い、発達を考慮しながら進める。
- * 満3歳入園児に対して柔軟に対応し、初めての集団生活にスムーズに入れるよう一定期間の満3歳児クラスの配置や連絡ノートを活用し個別の対応に配慮する。
- * 園庭や園外保育を通して戸外遊びを充実させる。
- * 地域の資源や公共施設訪問などを行い、地域の環境を生かした保育の実践を心がける。
また、老人施設訪問なども継続して取り組んでいく。
- * 支援を必要とする幼児に対して、職員を配置し、寮育機関との連携を深め、保護者には園での様子伝える連絡ノートを活用しながら一人一人に配慮した保育を行う。
- * 教師一人一人が幼児と向き合い、きめ細かい保育ができるよう、また保育チームとして情報を共有し、自己研鑽を心がけ資質の向上をはかる。
- * 小学校との相互の連携を深め、就学に向けてスムーズな移行を行う。
- * 保護者への情報提供を遅延なく行い、個人情報に留意しながらホームページやブログなどの充実を図る。
- * 卒園児を対象とした学童保育（のびのび）を継続し、子育て支援の機能を充実させる。

◆一日の標準的な流れ

	早朝預かり保育
8:30	登園・自由遊び
9:30	片付け・体操・雑巾がけ
10:00	入室・排泄、朝の活動（朝のお祈り）
10:30	各クラス設定保育
11:30	お弁当の準備 《午前保育 降園》 お弁当
12:30	午後の自由遊び
13:00	片付け・降園の用意
13:30	降園
18:00	預かり保育



◆本園の沿革

- 1963(昭和38)年 5月 教会と園舎の建築着工
9月 1日 献堂式と園舎の祝別式および祝賀会実施
10月31日 マリア院開設 (シスター2名)
11月 6日 開園・入園式挙行
初代園長にドイツ人宣教師 エンマヌエル・ゼントグラフ神父、
副園長ウルバン・サワビエ神父
教諭シスター・ベアタ、シスタークニグンデ
園児34名
…
…
…
(正式認可は、1964(昭和39)年2月27日)
- 2021(令和3)年 3月 第58回卒園式挙行



はほろふじようせん
幼

